

GMO CLOUD

証券コード 3788

2019年 第1四半期
決算説明資料

免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要
2. 2019年 第1四半期決算概要
3. 事業概況
 - クラウド・ホスティング事業
 - セキュリティ事業
 - ソリューション事業

1. GMOクラウド会社概要

GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウド、ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証、企業向けID・パスワード管理サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエン ジン、車両遠隔診断）
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2019年 3月末現在）
従業員数	連結 913名（2019年 3月末現在）

GMOクラウドの事業領域

● インターネットの安全を支える

クラウド・ホスティング事業

- 安全なクラウド基盤の提供

セキュリティ事業

- 電子認証により、通信（取引）を守る
- ID管理により、利用者の入り口を守る

● 企業のクラウド利用を支える・便利にする

ソリューション事業

- 「IoT関連」「O2Oアプリ」「電子契約」
「ネットワークエンジン」「車両遠隔診断」

2. 2019年 第1四半期決算概要

セグメント別トピックス ハイライト

セキュリティ事業

- 「SKUID byGMO」から「トラスト・ログイン byGMO」へ名称変更
- クライアント証明書発行サービスが「Microsoft Intune」と連携開始
- IoTデバイスのセキュリティサービス「G-Shield」リリース

ソリューション事業

- 生産現場におけるAI・IoT技術の三者共同研究・実証実験を開始
(はくばく × 都立産業技術研究センター × GMOクラウド)
- 創業214年の老舗和菓子屋・船橋屋で「Diversity Insight for Retail byGMO」によるAIを活用した行動分析を実施
- 「GMO電子契約サービスAgree」ワンビシアーカイブズの電子契約サービスのプラットフォームに採用

2019年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2018年Q1実績	2019年Q1実績	前年同期比
売上高	3,106	3,222	+ 3.7%
営業利益	360	395	+ 9.7%
親会社帰属利益	231	326	+ 41.2%
EBITDA※	391	423	+ 8.1%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費償却費 + のれん償却費

押し上げ要因

- セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- クラウド・ホスティング事業の効率化による費用削減効果

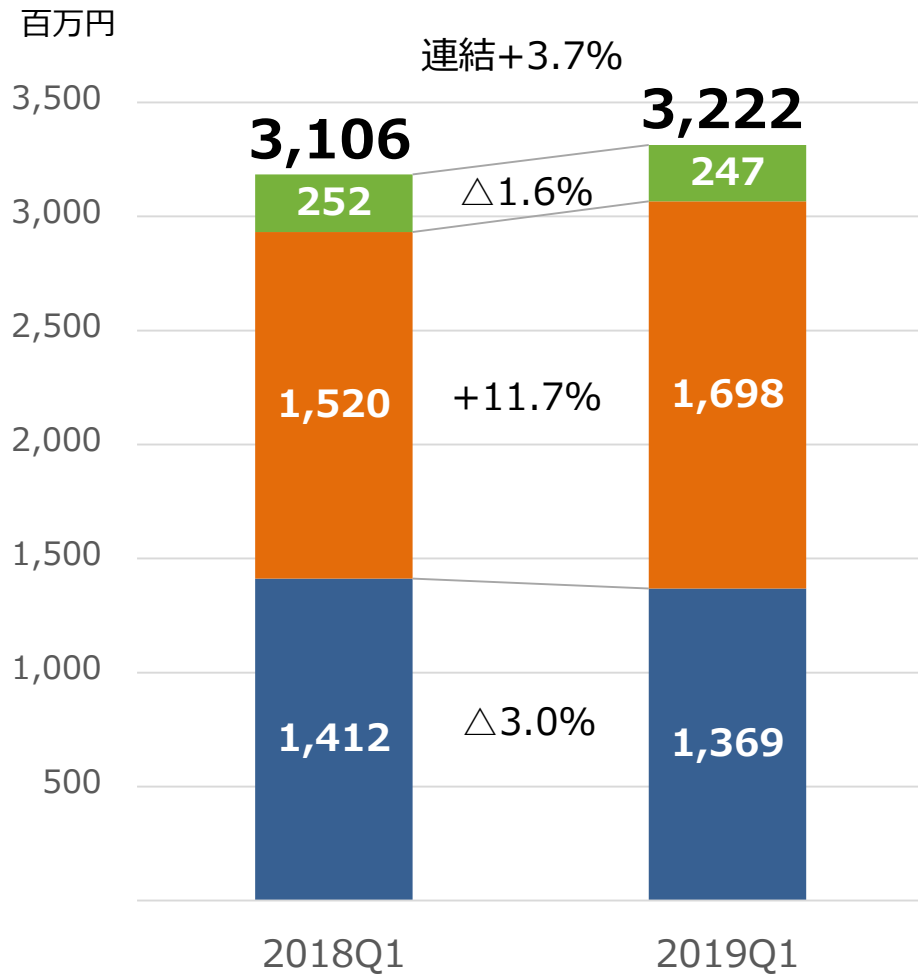
押し下げ要因

- セキュリティ事業の新規投資や事業拡大に伴う人員増強による費用増加
- IoT、ソリューション事業の新規事業関連費（人件費/ソフトウェア費用）の増加

2019年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

— セグメント別売上高（セグメント間取引控除前） —

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



クラウド・ホスティング事業

- クラウド売上は増加、一方、共用・専用サーバーは売上減少傾向続く

セキュリティ事業

- 国内および海外市場ともに売上好調推移
- エンタープライズ向け売上好調推移

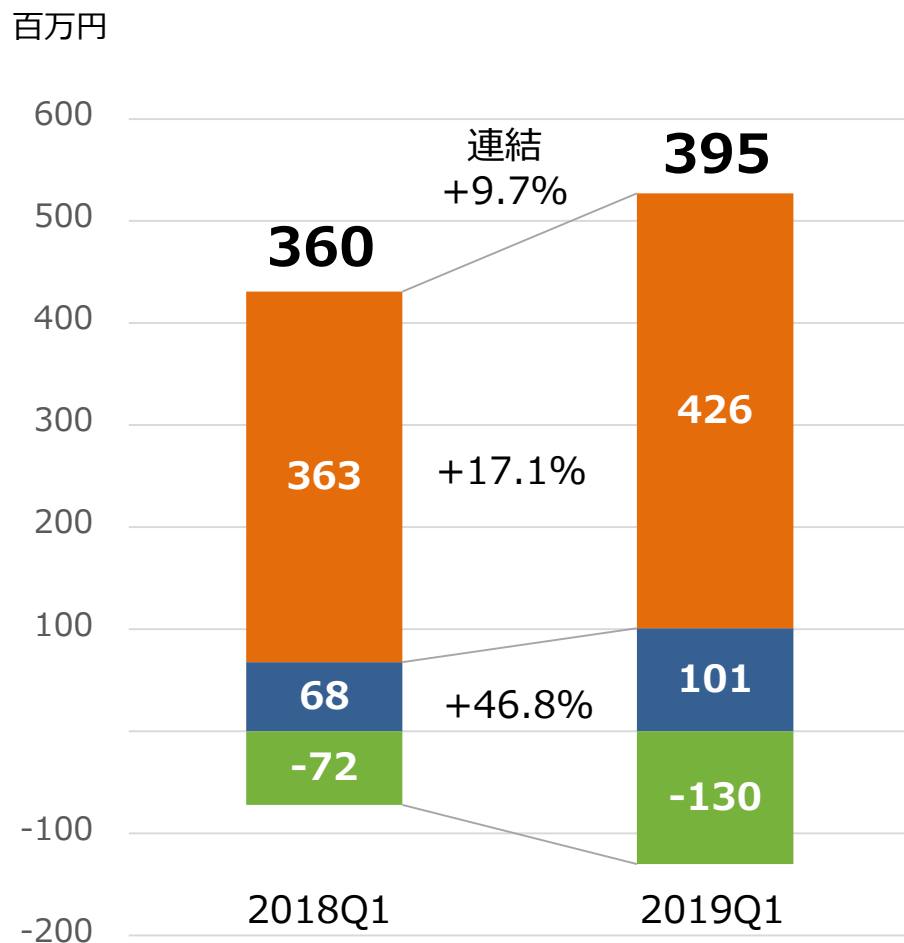
ソリューション事業

- Agreeが代理店販売の強化で売上好調推移
- O2OアプリおよびPhotonが一時売上減少

2019年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

— セグメント別営業利益（セグメント間取引控除前） —

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



クラウド・ホスティング事業

- サービス統廃合等によるコスト削減効果により利益率改善

セキュリティ事業

- 増収増益により、新規投資および事業拡大に伴い増加した費用（人件費/ソフトウェア費）を吸収

ソリューション事業

- AI・IoT事業への投資継続およびカークラウド事業の新規サービスにかかる費用増加で利益減少

2019年 第1四半期連結決算概要[四半期比較]

- クラウド・ホスティング事業およびソリューション事業で減収
- クラウド・ホスティング事業の利益率改善とセキュリティ事業の増収に伴い増益

単位： 百万円	2018年 1 Q	2018年 2 Q	2018年 3 Q	2018年 4 Q	2019年 1 Q	前四半期比
売上高	3,106	3,133	3,213	3,284	3,222	△ 1.9%
営業利益	360	340	375	331	395	+ 19.3%
経常利益	352	385	427	325	396	+ 21.9%
親会社 帰属利益	231	293	301	130	326	+ 150.9%

2019年 第1四半期セグメント情報 [四半期比較]

- クラウド・ホスティング事業は既存サービスで売上減少するもコスト削減効果および減価償却費の減少などにより増益
- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内・海外ともに売上好調推移

売上高				営業利益			
セグメント	2018年 1Q	2019年 1Q	百万円 前年 同期比	セグメント	2018年 1Q	2019年 1Q	百万円 前年 同期比
クラウド・ホスティング	1,412	1,369	△ 3.0%	クラウド・ホスティング	68	101	+46.8%
セキュリティ	1,520	1,698	+11.7%	セキュリティ	363	426	+17.1%
ソリューション	252	247	△ 1.6%	ソリューション	△72	△130	-
消去又は 全社	△77	△93	-	消去又は 全社	0	0	-
連結計	3,106	3,222	+ 3.7%	連結計	360	395	+ 9.7%

連結貸借対照表

単位：百万円	2018年12月末	2019年3月末	増減率
流動資産	6,505	6,347	△2.4%
(現金預金)	4,356	4,168	△4.3%
(売掛金)	1,439	1,552	+7.8%
固定資産	2,618	2,611	△0.3%
(ソフトウェア)	677	709	+4.8%
(のれん)	-	-	-
(投資有価証券)	504	484	△3.9%
(関係会社株式)	57	57	-
資産合計	9,124	8,958	△1.8%
負債	3,291	3,258	△1.0%
(前受金)	1,528	1,537	+0.6%
(借入＋リース債務)	385	364	△5.4%
純資産	5,832	5,700	△2.3%
(株主資本)	5,609	5,457	△2.7%
(その他包括利益累計)	195	213	+9.6%
(非支配株主持分)	27	29	+5.0%
負債・純資産合計	9,124	8,958	△1.8%

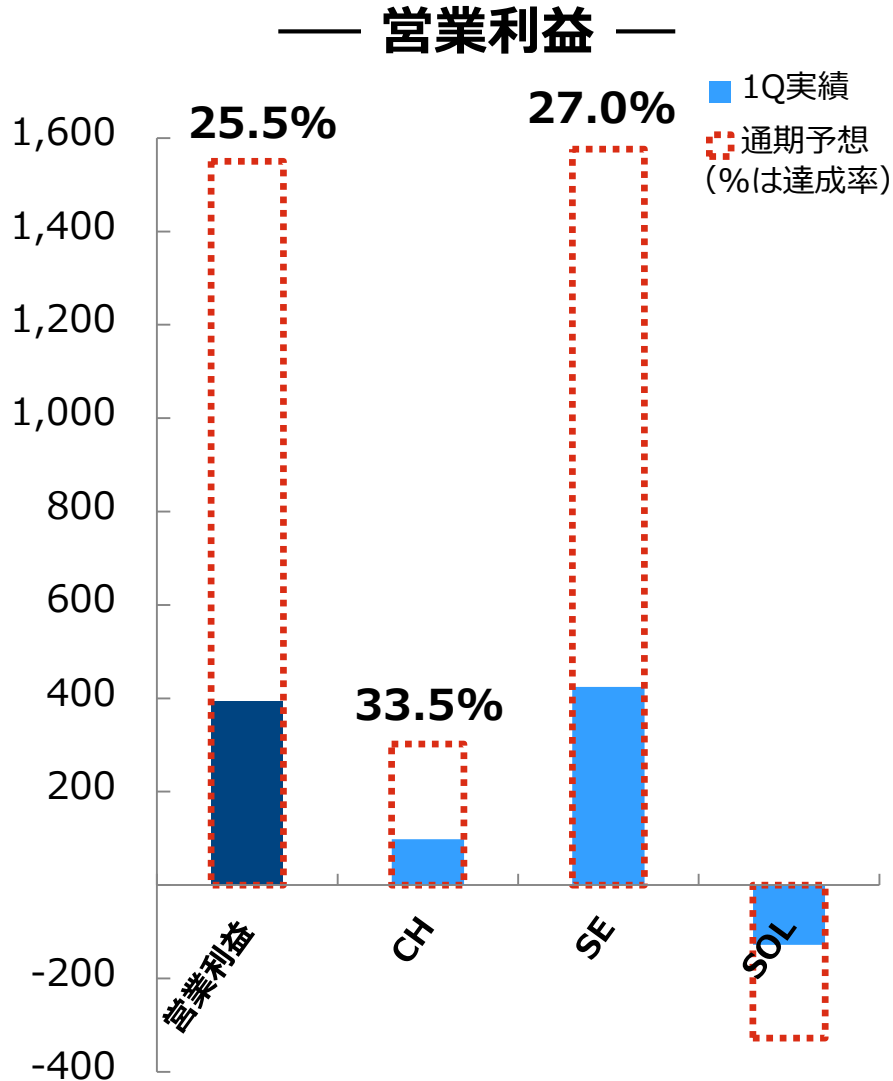
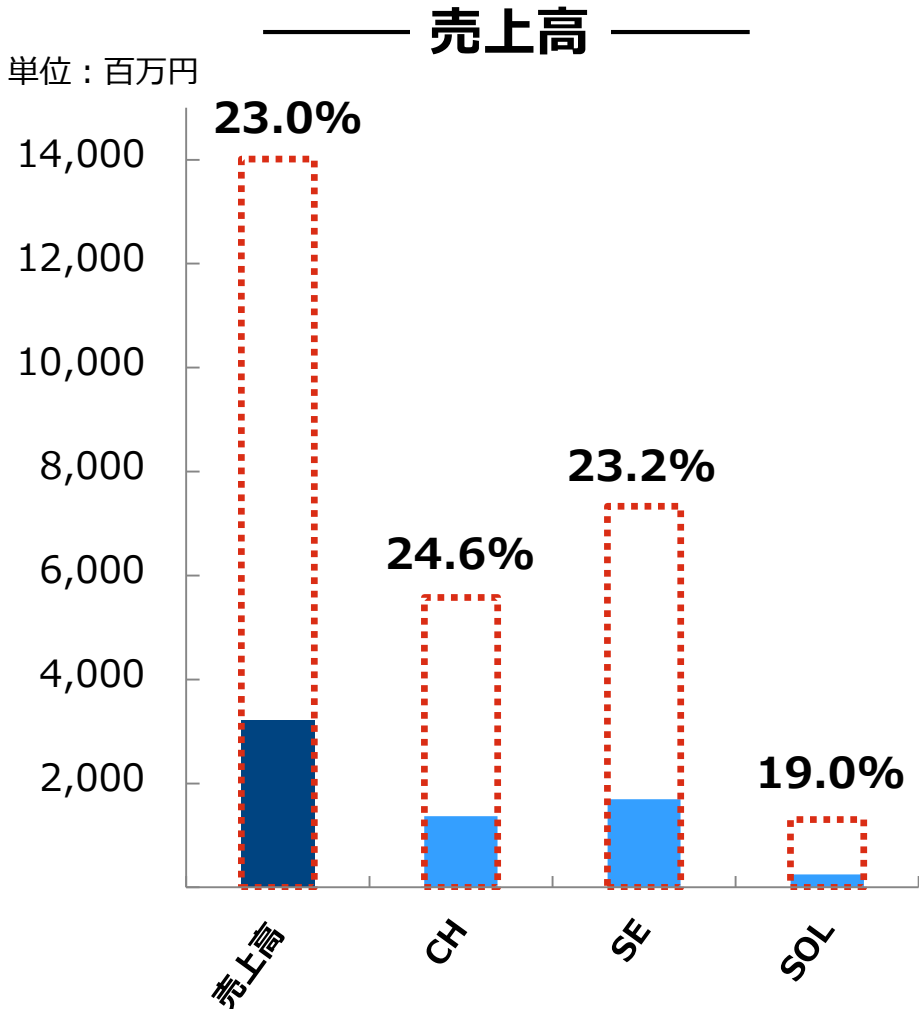
主な資産増減要因

- 現金預金
△188百万円
- 売掛金
+112百万円
- ソフトウェア
+32百万円

主な負債増減要因

- 買掛金
△108百万円
- 預り金
+84百万円
- 賞与引当金
△16百万円

2019年 業績予実比較



CH:クラウド・ホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業

2019年 通期業績予想

- IoT事業への新規事業投資の継続により費用増加を見込むが、セキュリティ事業続伸により増収増益を計画

単位:百万円	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (予想)	2018年比
売上高	12,738	14,015	+10.0%
営業利益	1,408	1,550	+10.0%
経常利益	1,490	1,550	+ 4.0%
親会社帰属利益	956	1,010	+ 5.6%
1株当たり 純利益(円)	83.04	87.68	-

2019年 通期業績予想〔セグメント別〕

- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内外で増収増益計画
- 引き続き、IoTインフラおよびIoTセキュリティ分野へ投資継続

売上高

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	5,578	5,580	+0.0%
セキュリティ	6,408	7,332	+14.4%
ソリューション	1,033	1,303	+26.1%
消去又は 全社	△281	△ 200	—
連結計	12,738	14,015	+10.0%

営業利益

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	301	302	+0.3%
セキュリティ	1,463	1,576	+7.7%
ソリューション	△364	△ 328	—
調整	+ 7	0	—
連結計	1,408	1,550	+10.0%

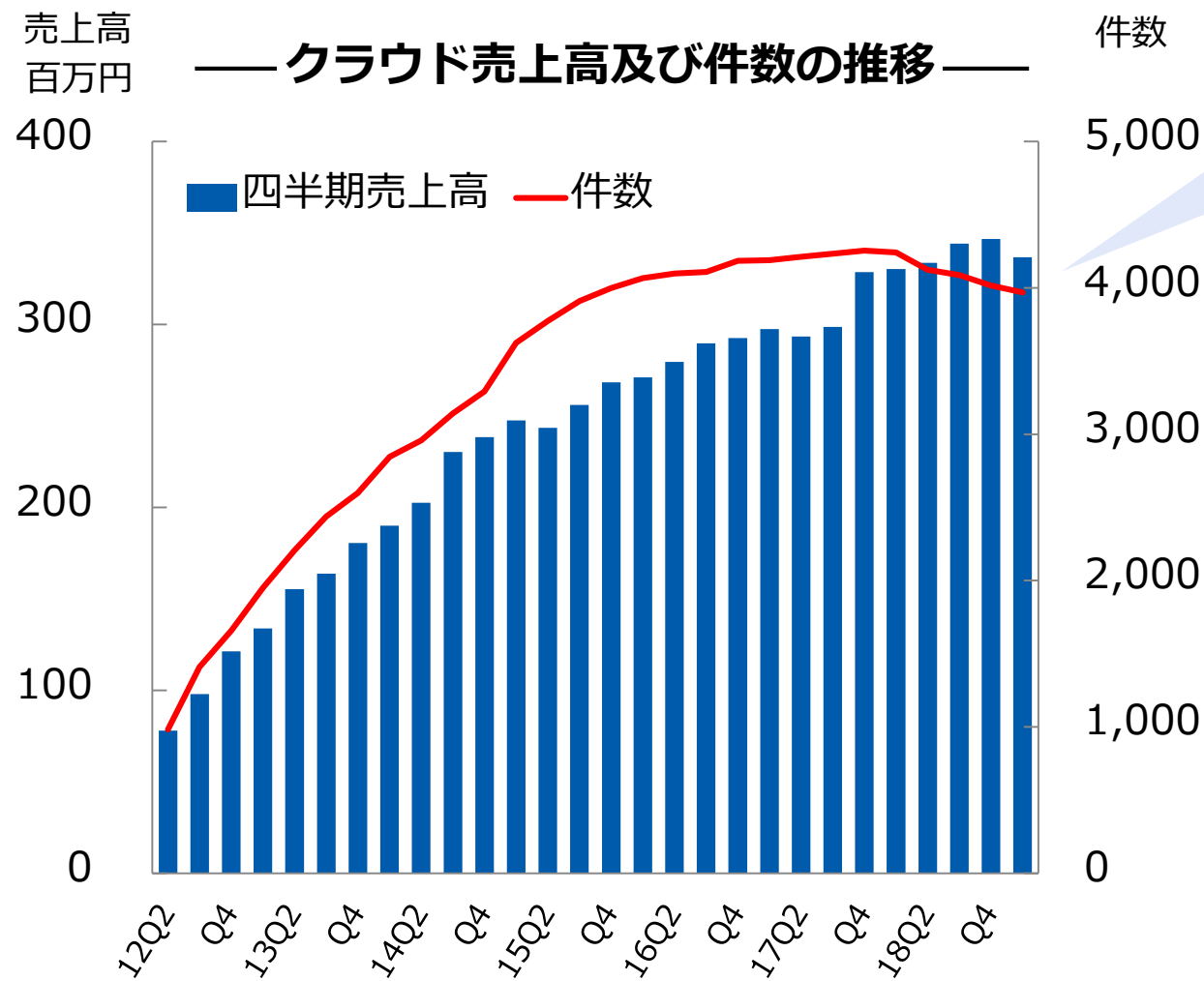
3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

安全なクラウド基盤の提供

クラウドサービス売上高と件数推移

一部商材の提供終了により件数減少するも売上は堅調に推移



件数の減少は、ALTUSオブジェクトストレージサービスの提供を昨年4月に終了した影響による

2019年第1四半期

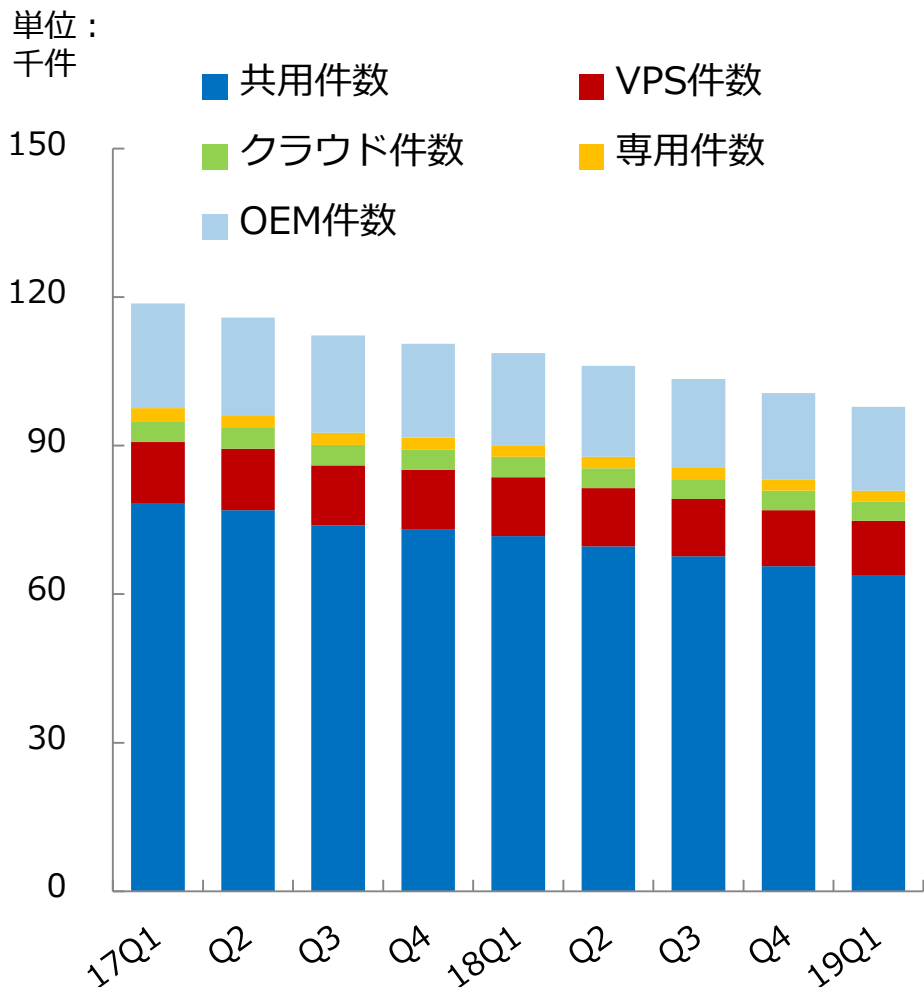
売上高：336百万円

前年同期比：+2.0%

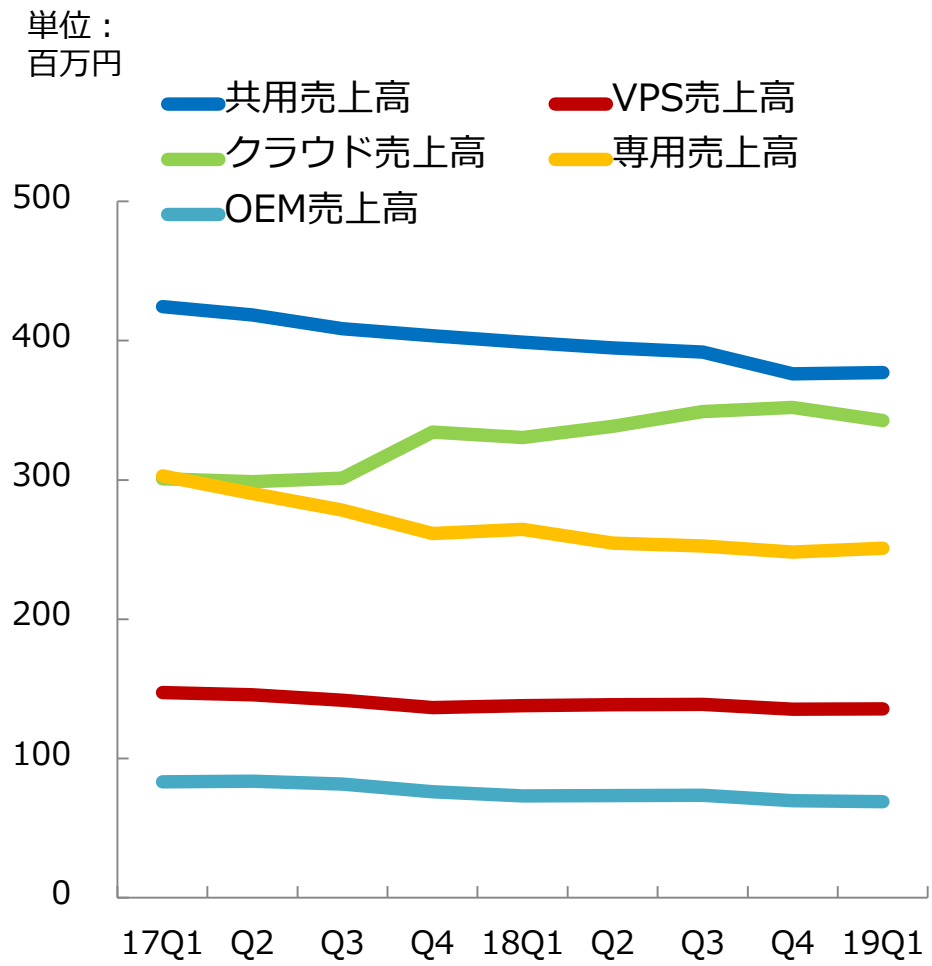
クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

提供サービスの統廃合継続。件数は減少したものの収益改善

—— 四半期別 商材別件数 ——



—— 四半期別 商材別売上高 ——



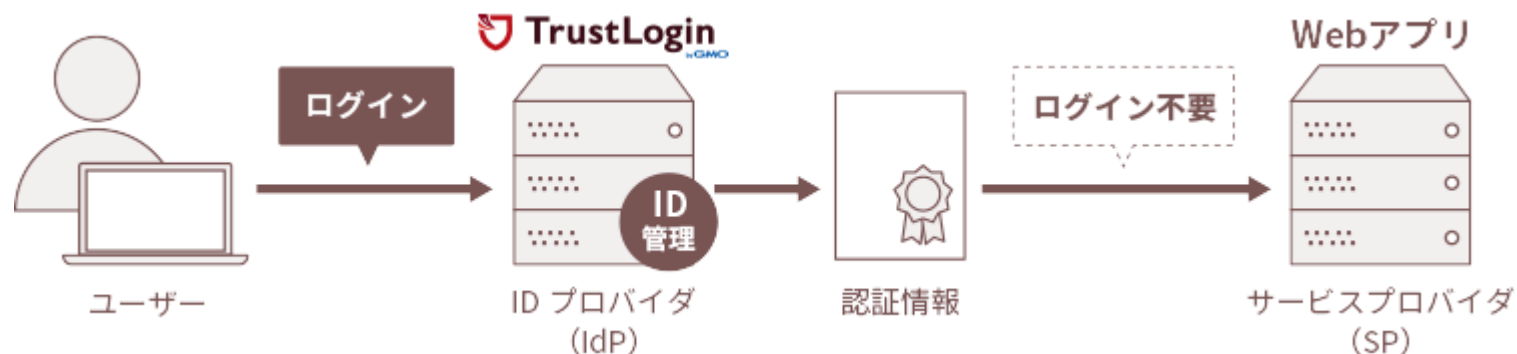
3. 事業概況

セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る

「トラスト・ログイン byGMO」 SAML連携でセキュリティ強化

独自登録機能でSAML認証※1によるシングルサインオン※2を実現
より高いセキュリティ環境でサービスを利用可能に



「SKUID byGMO」は3月16日をもって **トラスト・ログイン byGMO** に名称を変更しました

新しいサービス名称「トラスト・ログイン byGMO」には、これまでGMOグローバルサインが培ってきた認証局としてのセキュリティの強みを生かし、“お客様が信頼 (trust) して利用できるシングルサインオンサービスになりたい”という思いを込めています

※1 SAML認証: サービスごとに ID/パスワードの発行・管理が不要となる認証規格。セキュリティ向上が図れ、ID管理にかかる業務負担を軽減することができる

※2 シングルサインオン: 1つのIDとパスワードを入力し、複数のWebサービスやアプリケーションにログインする仕組み

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/181026_2905.html

IoTセキュリティサービス「G-Shield」リリース

IoTデバイスのセキュリティを高めるため
ICチップへの電子証明書の発行を実現

- ICチップに電子証明書を直接書き込める「G-Shield」をBig Good社と共同開発し、3月15日より提供開始
- IoTデバイスの乗っ取りや、不正アクセス、サイバー攻撃に備える
- スマートホーム機器、ネットワーク機器、半導体ベンダーへ展開



REALTEK

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190315_2967.html

よりセキュアで簡単な電子証明書の管理・運用を実現

煩雑な電子証明書の管理・運用を一元化することで
ネットワークにつながるデバイスやアプリケーション等を保護
さらに企業における大量の電子証明書管理を効率化

VENAFI®

デバイス間接続・暗号化
通信等のセキュリティ
ソリューションを展開

VENAFI社が提供するセキュリティ
ソリューションの国内販売において協業



日本市場における販売

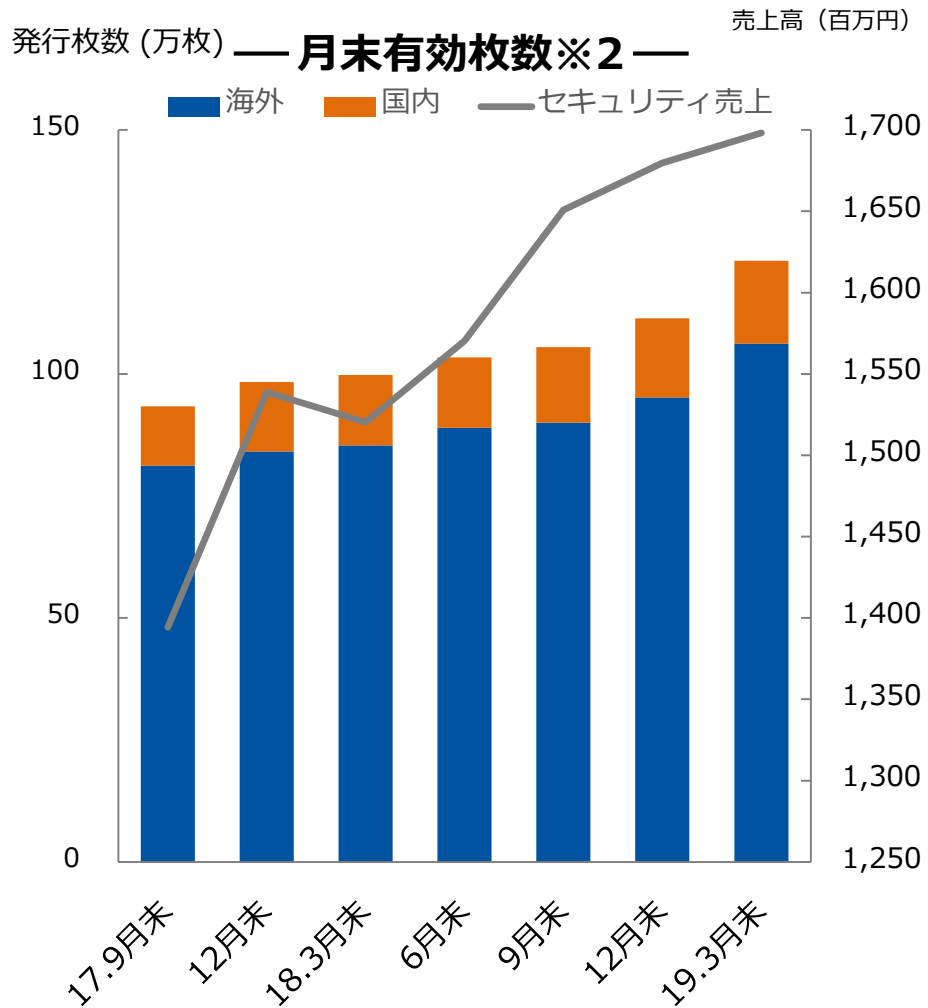
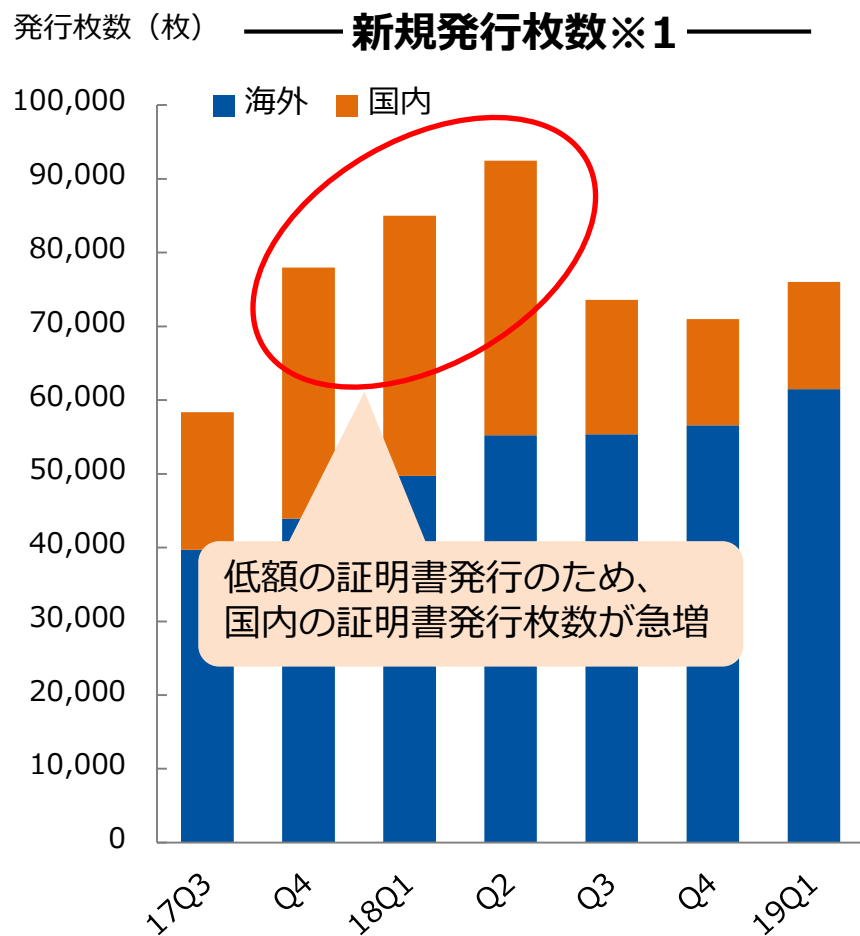


電子証明書の提供

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190411_2981.html

SSL証明書発行枚数

国内および海外市場ともに大手顧客を中心に売上好調推移



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

3. 事業概況

ソリューション事業

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

IoTの窓口 byGMO トピックス

製造業の現場の生産性を向上させるIoT製品の普及促進を目的に、AI・IoT技術の三者共同研究・実証実験を開始



共同研究・実証実験の概要

精麦加工の最大手であるはくばく社の工場内で、画像認識AI技術を用いた各種数値の見える化など、AI・IoT技術を活用した研究・実証実験を実施。現場の効率化による生産性向上と汎用製品化を目指す取り組み

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190301_2962.html

IoTの窓口 byGMO トピックス

創業214年の老舗和菓子屋において
「Diversity Insight for Retail byGMO」による行動分析を実施

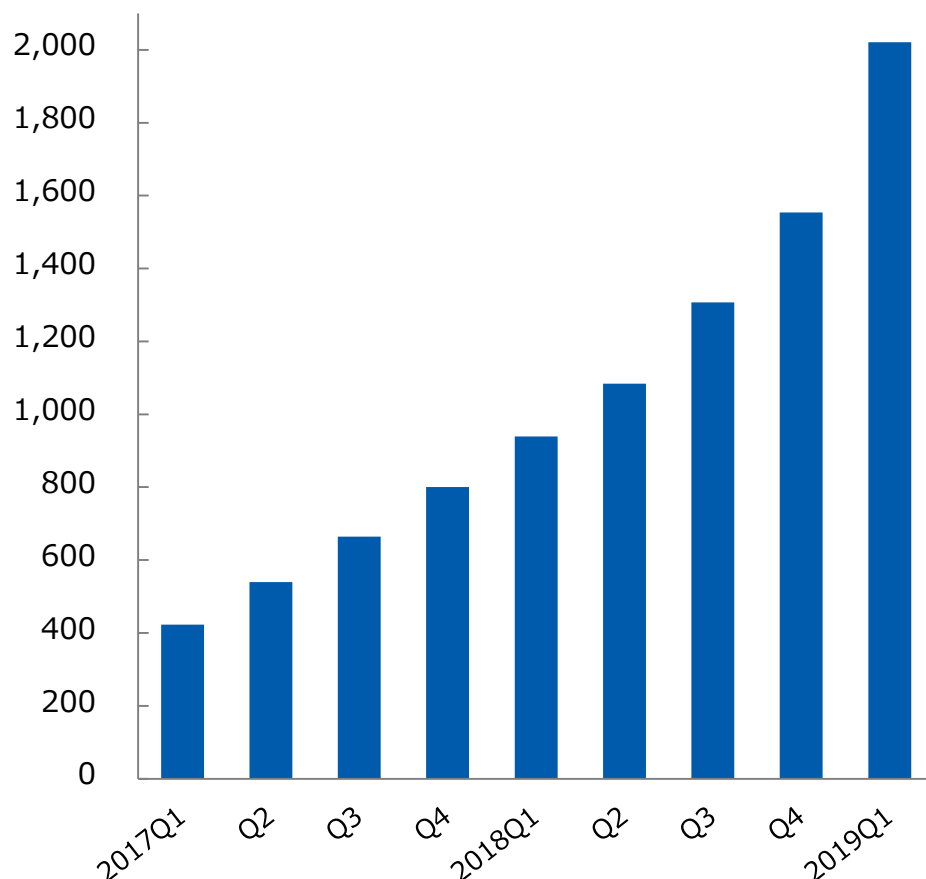


- 4月1日より老舗和菓子屋・船橋屋の姉妹ブランド「船橋屋こよみ広尾本店」へ、AIによる来店客分析サービス「Diversity Insight for Retail byGMO」を提供
- 今まで店員が接客などと並行して感覚的に行っていた調査を、AIによる定量データとして取得。接客の質の向上や、データに基づく最適な数量の菓子の製作、来店客属性に合わせた新しい商品企画などへの有効活用を目指す

【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190401_2973.html

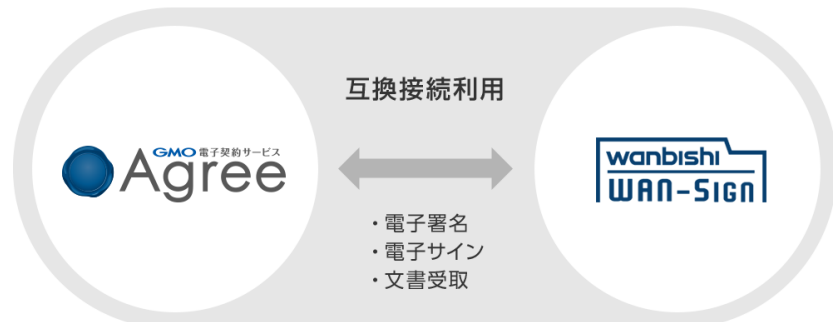
直販に加え代理店による販売を強化し業績も好調推移

累計数(件) — アカウント数推移 —



—— トピックス ——

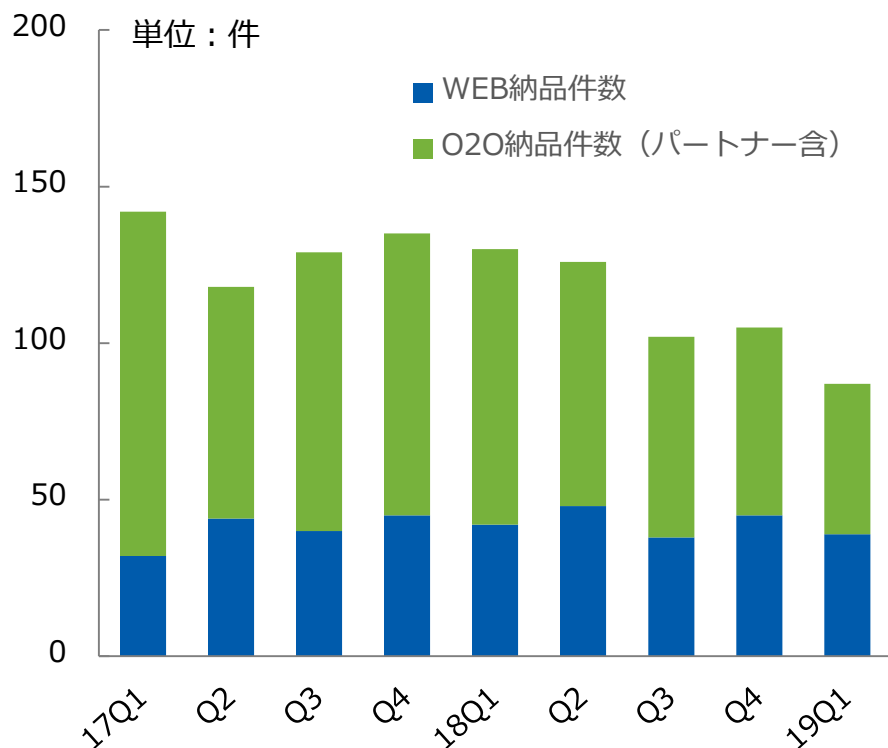
- 日本通運の子会社で情報資産管理のリーディングカンパニーである、ワンビシアークイブズ社の電子契約サービスのプラットフォームとして提供を開始
- 今後の展開として、「GMO電子契約Agree」と同社サービスとの互換接続利用を可能にするなど、電子契約サービスの普及促進を目指す



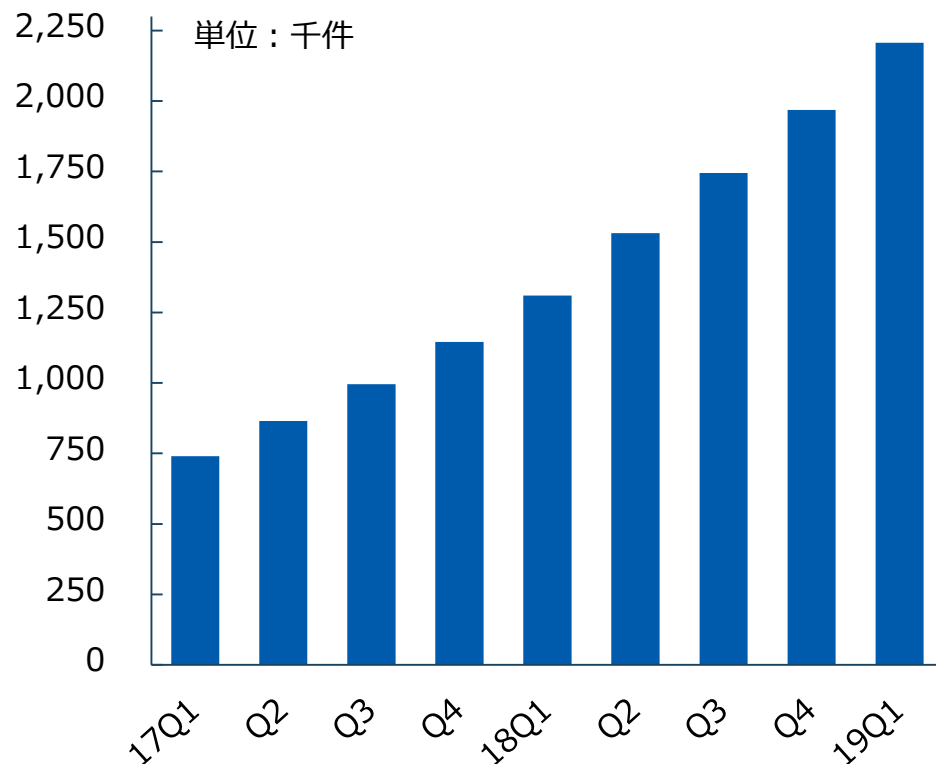
【詳細URL】 https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190403_2976.html

- 3月より既存顧客に対して、SSL証明書の導入キャンペーンを実施
- 定期自動支払い（サブスクリプション）のオプション機能を追加

— 納品件数の推移 —



— 累計ダウンロード数の推移 —



※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

【詳細URL】 <https://gmo-app.jp>



GMOクラウドグループは
One GMO CLOUD へ

当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : [ir @gmocloud.com](mailto:ir@gmocloud.com) または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。